

学生と保護者の皆様へ

2021年2月

現在、亥鼻地区では、学生の留学による学びの評価に関する研究を行っています。留学の効果的なプログラムづくりに役立てることを目的に、この研究では、2021年2月～2023年12月に学生アンケートとインタビューを実施させていただきます。回答した情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「医療系学部・大学院の全員留学による学びの包括的評価に関する実証研究」

2. 研究の意義・目的

「超短期留学経験から得た学生の学びを意識変容の側面から評価し、留学の効果的なプログラムづくりに貢献すること」

3. 研究の方法

「2021年2月～2023年12月に、学生を対象にアンケートを行ない、氏名、学籍番号、学年、所属、英語能力（資格試験の結果）、メールアドレス、年齢、性別、就学年数、最終学歴、主な居住国、市、複数の市に居住した場合の数、現在の居住地郵便番号、結婚歴、子どもの有無と数、民族、専攻分野と学位、政治的傾向、宗教意識、親／保護者の年収、本人の年収、大学での成績（GPA）、取得予定の最高学位、国籍、国籍国以外の通算滞在期間、訪問国数、入学以前の海外渡航経験、両親最終学歴、両親の出生国、国際理解教育／留学体験への関心レベル、現在の国際理解教育／留学体験への参加状況、将来の国際理解教育／留学体験への参加予定、過去の国際理解教育／留学体験への参加状況、過去の国際理解教育／留学体験への満足度、海外渡航の利点、大学入学前の外国語学習年数、大学在学中までに学習した外国語、外国語の会話能力、ニュースや情報の入手媒体、ニュースや情報メディアの利用頻度、留学等学習体験時に受入国の学生と一緒に授業に出席したか、国際的な学習体験中に利用した通信手段、国際的な学習体験の結果変更したもの（学術的関心、キャリアの方向性、人生の目標）に関する基本情報を調査し、国際的な学習体験の内容と学習体験前後の意識（人生における負の出来事、欲求の抑圧、欲求の充足、アイデンティティの拡散、基本的な開放性、自己に対する確信、決定論・必然論的性向、社会・情緒の理解、身体への共鳴、感情の調整、自己認識、意味の探求、宗教的伝統主義、ジェ

ンダー伝統主義、社会文化的オープン性、環境との共鳴、世界との共鳴）およびグローバル人材育成能力（発信力、自己表現力、コミュニケーション能力、課題解決能力、国際性の涵養、多様な価値観）の変容との関連を調べる。」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、学生の氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学亥鼻地区留学支援室のPCでパスワードにより保護したうえで厳重に管理し、紙媒体の資料は鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院医学教育学	教授	伊藤 彰一
千葉大学未来医療教育研究機構	特任助教	中村 絵里
千葉大学国際未来教育基幹	教授	大西 好宣
千葉大学国際未来教育基幹	特任助教	松本 暢平

6. 研究に情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

本件のお問合せ先：亥鼻地区留学支援担当 中村絵里

043（226）2948 内線7865